



2021年12月23日

各位

会社名 株式会社マツオカコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 松岡 典之
(コード番号：3611 東証市場第一部)
問合せ先 管理本部 広報IR室 深川 道宏
(TEL. 084-973-5201)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日プライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっております。流通株式時価総額については基準を充たしておりません。当社は、2021年5月14日発表の中期経営計画「ビジョン2025」の最終年度となる2026年3月期末までに、上場維持基準を充たすための各種取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均 売買代金 (億円)	時価総額 (億円)
当社の状況 (移行基準日時点)	—	40,928	73	40.6	0.5	—
上場維持基準	—	20,000	100	35	0.2	—
計画書に 記載の項目	—	—	○	—	—	—

※ 当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

添付の「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載のとおりです。

以上

新市場区分の上場維持基準の 適合に向けた計画書

2022/3期～2026/3期

2021年12月23日
株式会社マツオカコーポレーション
(東証市場第一部 証券コード3611)

1. プライム市場上場維持基準の適合状況
2. 適合計画基本方針
3. 当社を取り巻く環境
4. 当社の強み
5. サプライチェーンの増強
6. 生産能力の拡大
7. 計数目標
8. IR活動の強化/株主還元方針
9. サステナビリティ施策の継続と強化

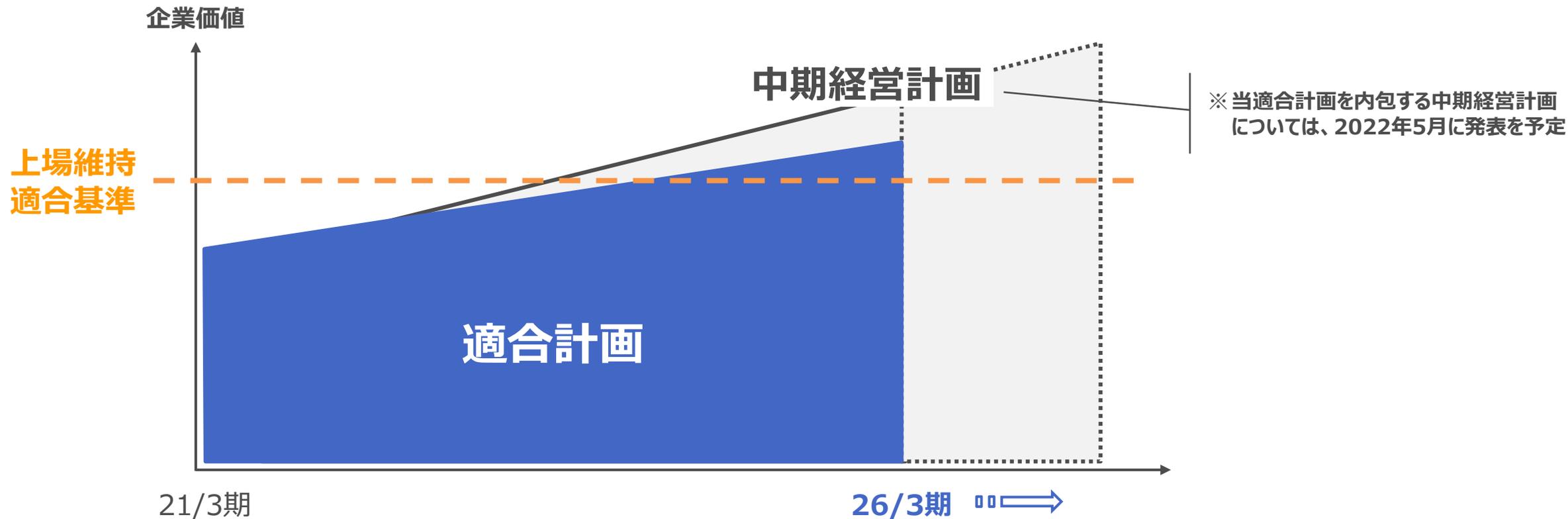
プライム市場上場維持基準の適合状況

- 2021年7月9日付の東京証券取引所からの通知において、当社は流通株式時価総額が上場維持基準に適合していない旨の通知を受けていることから、上場維持基準達成に向けた本適合計画を策定いたしました
- 本計画期間を、中期経営計画「ビジョン2025」の最終年度2026/3月期末までとし、本計画の取り組みを着実に実行することで企業価値の向上を図ってまいります

基準	上場維持基準	東証通知時点の適合基準状況 (2021/7/9付)	判定
株主数	800人以上	2,400人	○
流通株式数	20,000単位以上	40,928単位	○
流通株式時価総額	100億円以上	73億円	×
売買代金	20百万円以上	53百万円	○
流通株式比率	35%以上	40.6%	○

適合計画基本方針 ～プライム市場に相応しい企業であり続ける～

- ・ 当社は日本で最大の縫製企業グループとして、中国やASEAN地域等の国々で生産能力を拡充しつつ、「お客様のすべてのニーズに応える」ことで企業価値を高めてきました
- ・ 本適合計画では、現在進行中の工場建設による生産能力増強を収益力向上に結び付け、**企業価値を拡大し、プライム市場上場基準適合を実現**することを基本方針としています



当社を取り巻く環境

現在

➤ **コロナ禍によって世界的にサプライチェーンが疲弊も、当社への影響は限定的**

- 原材料費の高騰 ▶ **顧客指定資材が多く、影響は限定的**
- ロジスティクスの混乱 ▶ 30年以上の歴史ある**グローバルサプライチェーンの統合力**で影響を最小化
- エネルギー不足 ▶ **人的資本中心の縫製工場**であり、影響は限定的
- 感染対策と移動制限 ▶ コロナ禍の1年半の期間で、**既存の国際間リモートワークノウハウを更に充実**



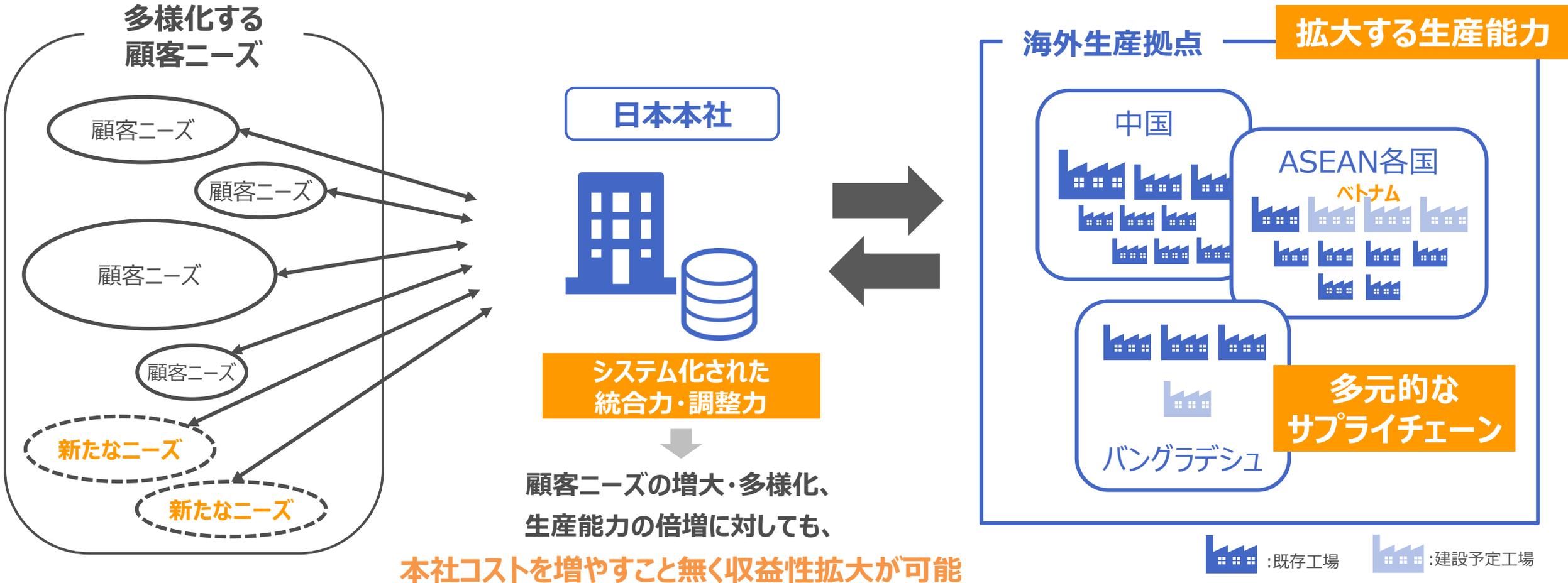
将来

➤ **ウィズコロナは継続するも移動制限等は緩和、アパレル需要は徐々に回復**

- **コロナ禍でも工場・生産能力投資を継続している当社受注は増加傾向**
- **収益及び企業価値の拡大を実現可能な体制を整えられている**

当社の強み

- 日本最大の縫製企業グループであり、グローバルに事業展開中
- 生産能力×多元的サプライチェーン×日本本社のシステム調整能力**で、「お客様のすべてのニーズに応える」



サプライチェーンの増強

- ・ **ベトナム・ Bangladesh に新工場を建設し、生産量の過半を占めている中国から生産地の最適化を推進**
- ・ **中国及びASEAN地域等の地政学リスクにも対応しうる強靱なサプライチェーンを拡充し、変化する顧客ニーズへさらに柔軟に応えられる生産体制へ強化**



■ 新工場建設計画

➤ ベトナム

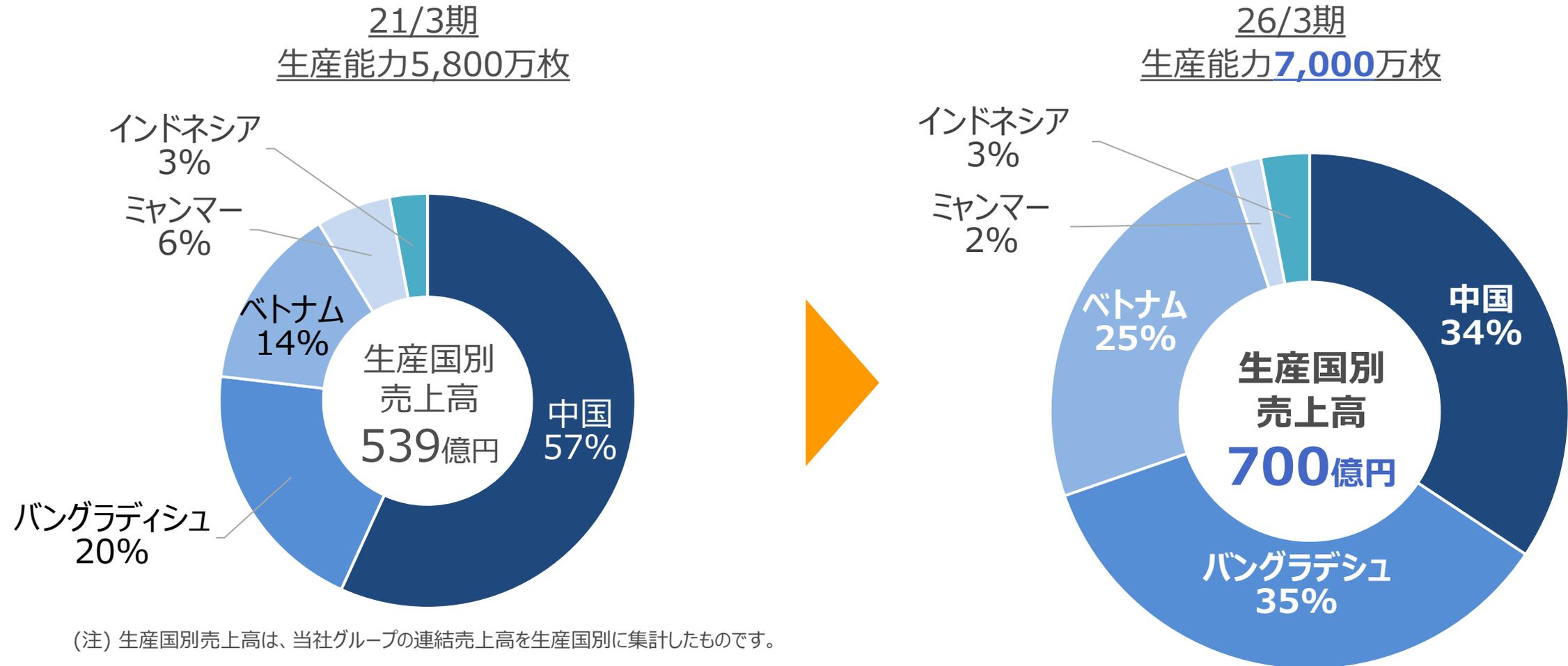
完成予定時期	工場	年間生産能力	投資額見込
21/12月	アナム第2期工場	312万点	20億円
22/9月	アナム第3期工場	312万点	11億円
22/9月	タンチュオン工場	143万点	7億円

➤ Bangladesh

完成予定時期	工場	年間生産能力	投資額見込
22/11月	イシュワルデイ第2期工場	450万点	19億円

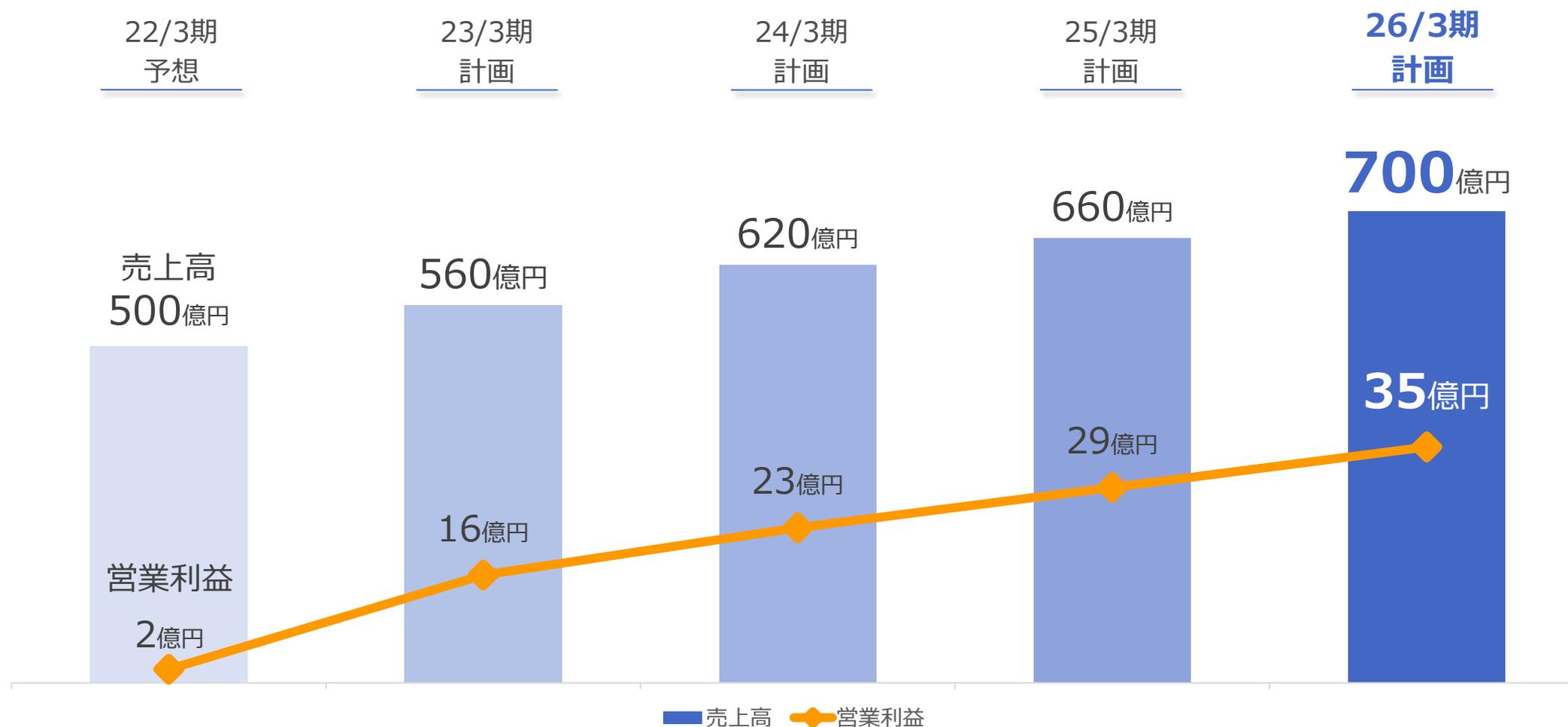
生産能力の拡大

- ・ 新工場建設により、年間生産能力は1,200万点以上拡大し、**7,000万点**に増強
- ・ 同時に生産拠点ポートフォリオの最適化を実現、**顧客ニーズへの対応力を強化**



計数目標

- ・ 中期経営計画の工場戦略を着実に実行することで、**生産能力と収益力を拡大**
- ・ 26/3期には**売上高700億円**、**営業利益35億円**への増大を計画



IR活動の強化 / 株主還元方針

【IR活動】

- ・ **企業価値を伝達し株価上昇につなげるため、株主・投資家との対話及び情報開示の取り組みを強化します**

- 1 英文開示等、日本だけでなく海外の投資家を見据えた情報開示を強化します
- 2 財務情報については、経営指標拡充と、グラフ等によるビジュアル強化によって開示内容を改善します
- 3 トップメッセージやビジョン、サステナビリティへの取り組み等、非財務情報の提供を強化します
- 4 決算情報だけに留まらず、当社ニュースを積極的にリリースします

【株主還元方針】

- ・ **財務の健全性や事業拡大のための新規投資とのバランスを検討し、安定配当を行うことを基本方針とします**
 - 配当につきましては、安定的・持続的な配当を基本とし、利益の拡大を通じて増加させることを目指します
 - 自己株式取得につきましては、資本効率向上のための株主還元策として、株価及び市場環境を考慮し、機動的に実施します

サステナビリティ施策の継続と強化

- ・ 当社は、1990年代より中国及びASEAN地域等に進出し、縫製工場の運営を通じて多くの雇用を創出
- ・ 従業員の経済的基盤、安全な食事、健康的な生活、質の高い教育、女性の社会進出機会、衛生的な環境を提供し続けています

■ SDGsへの取組の一例

【マツオカ海外工場での取り組み】

- ① 出産手当、障害者雇用、退職金支給
- ② 工場での食事（昼食等）提供
- ③ 年1回の健康診断、ワクチンの接種
- ④ 職業資格取得、工業技術研修、現地従業員の日本への研修派遣制度、安全研修
- ⑤ 工場従業員の過半に女性を雇用
- ⑥ 清潔な水道環境の整備と維持
- ⑦ 工場屋根へのソーラーパネル設置

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本資料の取り扱いについて

- ▶ 本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。
- ▶ これらの情報は、現在入手可能な情報から経営者の判断に基づいて作成されており、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え下さいますようお願い致します。
- ▶ 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。
- ▶ また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

本資料に関するお問合せ先
株式会社マツオカコーポレーション
IR担当
(TEL. 084-973-5201)
(URL. <https://www.matuoka.co.jp/>)